

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	南陽市における環境のみちの実現									
計画の期間	令和02年度～令和03年度(2年間)								重点配分対象の該当	
交付対象	南陽市									
計画の目標	下水道事業計画の見直しにより、効率的な下水道事業を推進し、快適な暮らしを実現する。									
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8	A	8	B	0	C	0	D	0
効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)										0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R2末)	(R3末)
1	①施設の設置及び機能の維持に関する方針等を含めた下水道事業計画見直しの策定率を0%(R2)から100%(R3)に増加させる。			
	①事業計画見直しの策定率(%)	0%	50%	100%
	見直しを行った事業計画区域(箇所)／見直しが必要な事業計画区域(箇所)			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	当該行動費支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	南陽市	直接	南陽市	管渠（	新設	基本的な計画の見直し	調査検討業務	南陽市	■	■				8		—	
												小計						8		
											合計						8			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

南陽市都市計画審議会にて実施

事後評価の実施時期

令和5年2月16日

公表の方法

市のホームページに掲載し公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

施設の設置及び機能の維持に関する方針等を含む下水道事業計画の見直しにより、交付対象事業の効率的な実施を実現している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

社会資本整備総合交付金を今後も活用し、未整備地区における生活排水処理の実情を把握し、適切な見直しを図りながら効率的かつ効果的に下水道事業を推進する。市単独事業や民間開発事業、その他事業との連携を図り、更なる下水道処理人口普及率の向上により生活環境の改善や公共用水域の水質保全に努め、快適な暮らしを実現する。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		目標値と実績値に差が出た要因
	目標値／実績値		
1	最 終 目 標 値	100%	目標どおりの実績値となり、差異はない。
	最 終 実 績 値	100%	

(参考図面) 社会資本総合整備交付金

計画の名称	南陽市における環境のみちの実現		
計画の期間	令和２年度 ～ 令和３年度（２年間）	交付対象	南陽市

最上川流域下水道（置賜処理区）
南陽市公共下水道（污水）計画図

A07 基幹事業



A07-001 基本的な計画の見直し

一 凡 例

-  下水道法による事業認可区域
 (整備予定区域)
 - - - 既設幹線
 ○ ポンプ場
 □ 処理場 (流域下水道)
 — 幹線及び枝線 (新設)
 〰 幹線及び枝線整備

整備予定箇所の色分け

-  新設（赤）
 増設（青）
 改築（緑）